

【泉区】令和7年第3回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	令和7年9月5日 午後1時50分～午後2時45分
場 所	泉区総合庁舎4階4ABC会議室
出席者	<p>【座長】 横山 勇太朗 議員</p> <p>【議員：2人】 梶村 充 議員、麓 理恵 議員</p> <p>【泉区：28人】 山口 区長 金子 副区長 瀧澤 福祉保健センター長 小畠 福祉保健センター担当部長 志熊 泉消防署長 ほか関係職員</p>
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 令和6年度泉区個性ある区づくり推進費事業実績について 2 令和7年度泉区個性ある区づくり推進費執行状況について 3 令和8年度泉区予算編成の考え方（案）について 4 第5期泉わくわくプラン（泉区地域福祉保健計画）の区民意見募集について 5 その他

	<p>1 令和6年度泉区個性ある区づくり推進費事業実績について</p> <p>麓議員：資料 34 ページに記載されている『子育てに関する実態調査』の結果は泉区のホームページ等で公開されているか。もし公開されていないのであれば、結果を教えていただきたい。</p> <p>中澤こども家庭支援課長：調査結果については、どのような形で公表するかを検討している段階となっている。今後、共同研究先の横浜市大と公開に向け準備を進めていく。</p> <p>2 令和7年度泉区個性ある区づくり推進費執行状況について</p> <p>麓議員：区制 40 周年に向けた取組について伺いたい。11 月 3 日に予定されているプレイベントは、具体的にどのような内容になるのか。また、来年の 40 周年の時に実施される催しの予定等、今後の見通しについて教えていただきたい。</p> <p>室町区政推進課長：11 月 3 日には、区民まつりのステージ上で、現在区民投票を行っているロゴマークイラストの完成披露を予定している。また、区制 40 周年を記念したブースの出展も計画しており、盛り上げを図っていく。来年度の予定事業については、実行委員会内に部会を設け、具体的な内容を検討している状況である。</p> <p>麓議員：災害対策についても伺いたい。泉区地域防災拠点同時訓練について、今年も実施されるとのことだが、訓練が長年行われていない拠点もあると聞いている。そうした拠点に対して、区役所から積極的にアプローチすべきではないか。また、5 年程度を目処に全拠点が訓練に参加できるようにするという話もあったが、拠点への支援についての考え方をお聞かせいただきたい。</p> <p>野村総務課長：今年の訓練は 11 月 16 日に実施予定で、昨年は 14 拠点が参加し、今年は 15 拠点が参加を表明している。一方で、指摘の通り、同時訓練だけでなく独自の訓練も含め全く実施していない拠点もあり、まずは情報受伝達訓練のみでも参加するよう働きかけを行っている。拠点への支援としては、年度初めに研修を実施し、防災アドバイザーの派遣や意見交換会を通じて、習熟度と参加率の向上を図っている。</p> <p>麓議員：子育て応援ステッカーについても伺いたい。協力店舗等でステッカーを掲示することの意味は、応援の意思表示だけなのか。例えば休憩スペースやおむつ替えスペースの有無など、具体的な支援内容も表示できるようにしてはどうか。</p>
--	--

中澤こども家庭支援課長：ステッカーは、地域との緩やかなつながりを目的としており、掲示によって具体的なサービスを提供する義務は設けてはいない。応援しているという気持ちを表していただきたいという主旨でお願いしている。

麓議員：主旨については理解できるところだが、場所によっては一步踏み込んだ支援が可能ではないか。

中澤こども家庭支援課長：地域ケアプラザでは具体的な支援内容の情報提供等をしていこうという動きがある。

3 令和8年度泉区予算編成の考え方(案)について

梶村議員：区制40周年を迎えるにあたり、施設の老朽化が進んでいることが懸念される。泉寿荘では水のトラブルにより、施設が使用できなくなってしまった。特に、指定管理者に管理を委託している施設では、日常的な点検や保守が十分に行き届いていないのではないか。40年も経つと老朽化も進んでいると思われるが、施設の保全体制の考え方はどうになっているか。

山口区長：施設の長寿命化に向け、建築局保全推進課において、施設の設備ごとに更新時期をリスト化している。一方で、一定年数が経過したからといって必ずしも故障するわけではないため、施設管理者がマニュアルに基づき目視点検を行い、必要に応じて保全推進課へ技術相談を行う『状態監視型保全』を実施している。対応の必要性を認めた場合には、長寿命化工事の対象としてリストに追加している。泉寿荘についてもリストに含むことになっていたが、工事前に故障が発生してしまった。なお、60万円未満の小破修繕については施設管理者が対応するが、それ以上の修繕については長寿命化対策予算または所管区局の予算により対応することとなっている。泉寿荘の件については、健康福祉局と予算の確保に向けて調整しており、年明けを目指して修繕を完了できるよう進めていきたい。

梶村議員：指定管理者に任せてしまうと安全確保に対する責任の所在があいまいにならないか。特に外壁の剥落など、事故につながる可能性のある事象には、指定管理者に任せきりにするのではなく、40周年を契機に主体的に関与し、見回りを実施するなど施設の安全性を確保する体制づくりをお願いしたい。

4 第5期泉わくわくプラン(泉区地域福祉保健計画)の区民意見募集について
特になし

5 その他

梶村議員：本日の雨の影響について、区内の状況はどうなっているか。

野村総務課長：午前7時50分に警報が発令されたことを受け、総務課の防災担当を中心に体制をとっている。区役所では自主避難所の開設準備を進めている。また、危険性が高い地域に対しては状況に応じて避難所開設の準備を進めておくよう伝えている。その上で、防災担当では気象庁からの情報を確認しながら準備体制をとっている。

梶村議員：遊水地の状況は確認しているのか。

小林土木事務所副所長：職員が現地パトロールを実施し、浸水が起こらないようスクリーンの清掃や落ち葉の除去などを行っている。また、遊水地周辺では立ち入り制限措置を講じ、安全確保に努めているところである。

横山議員：大雨の後には砂の堆積などの問題が発生することがある。遊水地に限らずだが、砂に関する要望があった場合には、対応をお願いしたい。